

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2025.01.No329

1月号

目次

新年のごあいさつ	1
全国大会報告	2
ブロック会報告	4
青年の窓	5
道士会の動き	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>



新年のごあいさつ

一般社団法人北海道建築士会 会長 本間 恵美

新年 あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は多くのお力添えをいただき誠にありがとうございました。

昨年は、新年早々の1月1日に令和6年能登半島地震が発生し、翌日2日には羽田空港で航空機衝突事故があるなど驚きの年明けでした。甚大な被害となったうえに、9月には令和6年奥能登豪雨が発生し、更に被害が拡大する状況となりました。被災された方々には心よりお見舞いを申し上げますと共に、一日も早く日常が戻ることをお祈りいたします。

北海道建築士会としては、災害を自分事として捉えて、災害時における地域の連携をどのようにするかについても取り組んでいかなければと思います。

昨年10月に開催された、全国大会鹿児島大会における青年委員会セッションの地域実践活動報告では、北海道ブロックの『建築士お仕事体験フェス』が最優秀賞をいただきました。吉田徹青年委員長が、大会式典の壇上で表彰されました。セッションに参加されていた他士会会長より「今年の活動は、どれもレベルの高い内容だったので、その中で最優秀賞は素晴らしい」とお褒めの言葉をいただき、本当に誇らしく思いました。青年委員会の今後の更なる活躍に期待します。

北海道建築士会の様々な委員会活動は、全国の各建築士会活動の中でも、レベルの高い内容ですので、会員の皆様方には是非とも活動に参加していただきさらに盛り上げていきましょう。

今年の第47回全道大会中標津大会は、9月27日(土)中標津支部を主管として、「日いつる大地からのメッセージ」をテーマに開催をいたします。昨年とはまた少し違った試みを企画して皆様をお迎えしようと、支部をあげての準備がすすんでいるようです。是非とも多くの方々にご参加いただきますようお願いいたします。なお、宿泊の予約はお早めに。

今年4月1日より、改正建築基準法が施行となります。建築確認制度の根幹を揺るがす偽装事件を受け、平成18年に大改正がありましたが、約20年を経てこれに匹敵する規模の改正となっています。

今回の改正では、確認申請の審査省略制度である四号特例の対象面積が縮小され、2階建木造住宅などでも、構造耐力について安全であることを示す図書の提出が必要となります。また、これに関連して壁量計算や柱の小径等に関する基準が強化されます。さらに、簡略化対象の縮小については、完了検査にも及び、構造関係規定等についても検査の対象となります。

この建築基準法改正に合わせて、建築物省エネ法も改正となります。具体的には、原則すべての新築住宅が省エネ適合基準への適合が義務となり、建築確認手続きの中で省エネ基準への適合性を求められることとなります。

これらの改正は、住宅を建てようとする施主様と設計者、工事監理者、施工者に大きな負担となるものですが、地球環境悪化防止の観点から、避けては通れないものです。

この二つの法改正の施行に先立ち、国土交通省等が説明会を開催するなど、様々な周知が行われています。当会で例年開催している建築基準法講習会でも、できるだけ実務に役立つ内容とし、1月11日より全道20会場で開催します。定員に余裕がある場合は、まだ申込可能ですので、各支部に問い合わせください。なお、当会のホームページで関連情報なども紹介していますので参考としてください。

昨年皆様にお知らせしたとおり、会員の減少や物価の上昇などの様々な要因により、会の健全な運営に向けて会費の値上げを含めた収支・財務状況の改善が必須となっています。今年も引き続き取り組みを進めて参りますので、みなさまのご理解・ご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

建築士会全国大会鹿児島大会に参加して



事業委員会 副委員長 西田 康人 (札幌支部)

令和6年10月25日に開催された第66回建築士会全国大会鹿児島大会に、有志11人で参加しました。鹿児島での大会は53年ぶりとの事です。今大会は「もえよ！建築維新～たぎる地で築く未来～」と題しての開催でした。

大会前日24日は全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会が行われ、25日大会当日は、全国各地から会員参加登録者や関係者を含め3,000名近い参加があり、式典は宝山ホール（鹿児島県文化センター）にて、各部会、委員会によるセッションは、主にカイクス交流センター（かごしま県民交流センター）にて執り行われました。



青年セッションで発表する吉田徹氏

おめでとうございます。そして、北海道ブロック推薦枠で札幌支部理事小林祐司氏（青年委員）からは「Web版パズルで住まいを考えよう」アップデートの案内もありました。



青年セッション最優秀賞受賞の吉田徹氏

午後に行われました記念フォーラムは、「建築維新ではじまる未来」と題しまして、林望氏、後藤一真氏、大西麻貴氏によりセッション形式で行われました。その後の大会式典は、奄美ルーツ奏者、里アンナ氏、前山真吾氏による鹿児島県奄美諸島で発達した独自の民謡群「奄美の島唄」の演奏で始まりました。その演奏は沖縄の「島唄」と同様に感じられ、鹿児島奄美地方と沖縄の結びつきを強く感じました。



次期開催地：大阪府建築士会PR

私は午前中、青年セッションに参加しました。北海道建築士会では青年委員長吉田徹氏による「建築士お仕事体験フェス」の活動報告があり、見事「最優秀賞」を受賞致しました。

午後に行われました記念フォーラムは、「建築維新ではじまる未来」と題しまして、林望氏、後藤一真氏、大西麻貴氏によりセッション形式で行われました。その後の大会式典

は、奄美ルーツ奏者、里アンナ氏、前山真吾氏による鹿児島県奄美諸島で発達した独自の民謡群「奄美の島唄」の演奏で始まりました。その演奏は沖縄の「島唄」と同様に感じられ、鹿児島奄美地方と沖縄の結びつきを強く感じました。式典では北海道からは、5名の方々が联合会会長表彰されました。おめでとうございます。そして、青年セッション最優秀賞の表彰もありました。最後には大阪府建築士会より次年

度の大阪大会案内があり、大会後に行われるエクスカッション用に万博チケットを、2000枚用意する予定との事でした。大阪大会も楽しみです。大会式典



「かんまちあ」で行われた大懇親会

も無事終わり、宝山ホールを後にし、鹿児島駅に隣接した「かんまちあ」会場に市電で移動して、大交流会が始まりました。「うなぎ」や「黒豚」「芋焼酎」などの鹿児島県が抱える



鹿児島市内仙巖園より望む桜島

食のコンテンツを存分にいただく事ができました。これほどの食材を準備していただいたのには大変驚きました。



参拝客で賑わう霧島神宮

大会の次の日以降、有志での見学になります。まず、南に向かい、知覧特攻平和会館に伺いました。出撃前に残したメッセージに触れ、改めて平和の尊さを考えさせられました。続いて、鹿児島市内北部にある名勝仙巖園です。島津家19代光久公により築かれた別邸で桜島を望むことができます。園内の御殿では島津公がどの様に暮らしていたか想いを馳せてみました。



天守閣は完全復旧された熊本城

その後、北上して、南九州最大の霧島神宮に向かいました。数百年に及ぶ樹齢の大木が随所にあり、荘厳な雰囲気、圧倒されます。その日は霧島温泉で一泊し、最終日は、熊本城に向かいました。熊本城は再建途中ではありますが、天守閣は完全復旧し見学可能です。境内の様々な箇所でもだに熊本地震の爪痕が残っていますが、天守閣内はきれいで資料が豊富です。とても快適に見学出来ました。じっくり見学すると2時間必要と伺いましたが納得の資料群でした。

薩摩の地で道産子たちに輝く栄誉

事業委員会 委員 山田 大樹 (十勝支部)



「10年前のあなたの投稿」とフェイスブックが自動的に昔の写真を表示してきました。それは私が平成26年に参加した建築士会全国大会「ふくしま大会」の時のものでした。「あれから10年経つのか・・・」そう、忘れることはない。私は「ふくしま大会」で北海道代表として十勝支部青年委員会の地域実践活動を全国大会の場で発表させてもらいました。「ばんえい競馬」を活かしたまちづくりの活動は上位入賞こそできなかったものの、大変貴重な経験となりました。そんな時、会報で全国大会が鹿児島で開催される事を知りました。九州に行ってみたかったこともあり、10年ぶりに「全国大会」に参加することを決めました。インターネットやガイドブックで鹿児島をリサーチするとたくさんの魅力あふれるグルメや歴史的建築物、観光地があり、宿泊する「天文館」というエリアは鹿児島最大の歓楽街で「早く鹿児島行きたい！」と日々思うようになり、出発が待ち遠しかったです。ではここから日ごとに全国大会の様子を報告します。

【1日目】本大会の前日は、青年建築士による「建築士フォーラム」が開催されます。この日は鹿児島市内を「まちあるき」し、ワークショップを行うのですが、飛行機の都合で私は夜の交流会から参加しました。交流会は商業ビルの最上階のワンフロアを貸し切って行われ150名程度の参加がありました。席は自由ですが、どこのテーブルも同じ都道府県の仲間であって固まっていたようです。鹿児島大学建築学科の学生たちも参加し、交流会の中で景品の当たる建築士クイズ大会も催されとても盛り上がりました。

【2日目】ついに迎えた10年ぶりの全国大会です。受付を済ませ、「青年セッション」に参加しました。「青年セッション」では全国7つのブロック（北海道・東北・関東甲信越・東海北陸・近畿・中四国・九州）がそれぞれの地域実践活動を発表し、会場の参加者が各発表に対して「地域貢献度」、「創造企画性」、「表現性」などの項目ごとに点数を付けて審査を行います。近畿ブロックから順番にブロック代表者が7分の持ち時間の中で、地域実践活動をスライドを使って説明を行います。さすがにどのブロックも創造性がある建築を通じた地域貢献・まちづくり活動をしており、特に学生や子供たちに建築の仕事を知ってもらおうイベントをしているブロックが多かったと思います。どのブロックも会員不足、建築士のなり手不足のため若いうちから建築に興味を持ってもらいたいという狙いがあるようです。北海道の活動は「建築士の日」に合わせて道内の4会場（札幌・函館・旭川・紋別）で同時に子供たちに建築士のお仕事体験をしてもらうイベントを開催し、

それをインターネットでそれぞれの会場に中継するというスケールの大きいもので、資料や説明も簡潔でとても良かったです。すべてのブロックが発表を終え、審査委員と参加者がスマートフォンから審査フォームにログインして10分間で採点します。採点が終わりと、壇上に各ブロック代表者が登場し審査発表の結果を待ちます。まず「奨励賞」として5つのブロックが選ばれました。その中に北海道はありません。これで優秀賞以上が確定したわけです。「これはもしかするともしかするぞ?」とドキドキしてきました。そしてその瞬間は訪れました。優秀賞は「中四国ブロック」そして最優秀賞は「北海道ブロック」！北海道としては初の快挙です。北海道青年委員会のみなさん、本当におめでとうございます。



北海道ブロックの発表

【大交流会】この日は小雨が降っていましたが、交流会の会場は屋根のあるサッカー場なので、問題ありません。ブロックごとにテーブルが用意され、会場全体で800人くらい参加がありました。会場には4か所の焼酎コーナーがあり、そこには地域ごとの銘柄が並び、4か所あわせて120種類くらいの焼酎がありました。そして10台くらいのキッチンカーが並び、うなぎや鹿児島牛ステーキなどの九州グルメが振舞われました。本当に楽しく美味しい交流会でした。交流会の途中、来年の開催地の大阪府建築士会から来年度の全国大会のPRがありました。平成23年に大阪でやる予定だった全国大会は東日本大震災の影響で中止となり、大阪としても念願の初開催のようです。全国大会は他府県の建築士と交流ができる貴重な場です。来年はみなさんも「おおさか大会」に行くで～（笑）

キーワードは「場」づくり

道央ブロック会

副会長 針ヶ谷 拓己 (札幌支部)



令和6年11月8日(金)、札幌の「かでの2・7」にて第2回道央ブロック会が開催されました。

各支部の活動報告では、コロナ以降、活動は活発化しているが、その反面、後継者不足、支部や分会の解散、支部の収入不足、事務局だった建築士事務所の閉所に伴う事務局移転など、支部運営が厳しい状況であると報告されました。そんな中、費用をかけないカタチで大人の部活動(グルメ部、登山部、ボウリング部など)を進め、楽しい「会」、居心地のよい「場」を提供し会員増強に取り組む支部もあり、今後の活動のヒントが見えてきたように伺えます。

会費改正については、10月に開催された臨時総会議題の「会費20,000円」に対する意見交換をいたしました。挙げた意見は、社会的な物価高なのでいたしかたない。会費改正のスケジュールが性急過ぎる。大幅な値上げによる退会者増の懸念。もっと経費削減できるのでは? など各支部、賛否やその理由が異なります。会費改正については全道の支部長及び代議員がZoomなどで集まり、ざっくばらんに意見交換をする「場」が必要なかもしれません。

最後に、令和6年をもって解散された古平支部の皆さま、長きに渡り本当にありがとうございました。

第2回ブロック会議報告

道北ブロック会

統括理事 大田 幸広 (旭川支部)



第2回ブロック会を10月17日(木)旭川市花月会館にて開催しました。8支部11名、本部より本間会長においでいただき、約1時間の意見交換と後の懇親会という流れの会となりました。本間会長より会費の改正についての現状と、今後の考え方についてもお話をいただきました。会費の改正については、一般会員への周知不足、事務局費・事業費のスリム化の具体的な手法の提示、今後の建築士会の活動の在り方、機関紙、全道大会の開催についても協議する必要があるという意見がありました。各支部の受け止め方に多少の差は感じましたが、納得できる説明をして、理解を得て進めていくことしかないのではないのでしょうか。今後のブロック会議の在り方については、現行通り事務局長合同会議後の6月末、10月に旭川での開催の年2回でとすることで意見がまとまりました。青年委員会の年齢制限については、各支部の状況が違うため、年齢を制限するには難しいという意見が多く、各支部の判断に任せることしかできない状況にあることを理解してほしいという意見が多数でした。各支部とも、若手の不足、企業が建築士会の活動に若手社員を参加させる余裕がなくなっていること、若手世代の活動を後押しする企業の理解をいただくことについても話し合われた会となりました。

ブロック会議報告

道南ブロック会

統括理事 中原 茂人 (苫小牧支部)



ブロック会議はどのブロックも年間2回の会議を基本としています。令和5年以前の道南ブロック会の議題は、会員減少並びに高齢化、収入の減少、事務局維持の困難さ等々、各支部の話題に力点が置かれ、本部については報告事項のみで、在り方について余り議題に挙がる事はありませんでした。しかし、令和6年度に会費値上げの検討が持ち上がってからは、各支部長の皆様も、本部の活動や事務局体制の現状に向き合わざるを得ない状況となりました。6月21日開催の第1回会議では、なぜ値上げが必要なのか、経費削減の余地はないのか、委員会数の見直しは可能か等々、根本的な議論を行いました。その結果、本部の存続なくして支部活動も出来ないとの観点から、値上げは賛成、支部交付金の増額なしは反対との結論に至りました。11月1日開催の第2回会議では、本間会長より、10月8日の臨時総会で議題に挙げる事が出来なかった事の報告があり、改めて各支部長の皆様との意見交換の場となりましたが、第1回会議と同様の結論となりました。今後どのような結論になるのか見通す事は出来ませんが、本部は全道34支部を同等のパートナーと捉え積極的に支援し、各支部も本部の事を我が事のように考え、互いに尊重し合い、決して対立する関係では無いと気づかされた一年でした。

第2回ブロック会議報告

道東ブロック会

統括理事 鈴木 徹 (十勝支部)



第2回道東ブロック会が令和6年11月9日に十勝支部を開催地として行われました。会議は、道東ブロック9支部が参加し、活動報告がなされました。各支部はコロナ感染症前の状況に戻っていますが、会員の減少もあり事業継続が難しくなっている支部も見られました。また、事業の財源も不足しており、賛助会員の増強や、ビールパーティー事業による収益を活用している実態も報告されました。このことは、支部活動の財源不足を示している一方、賛助会員や市民との交流促進というプラス面もあると感じました。次に本間会長から、会費値上げの説明を受け、意見交換が行われました。会費値上げは、運営上避けられないことですが、会員に対して丁寧な説明を重ねて進めていくことが重要だと感じました。最後に、令和7年度全道大会開催地の中標津支部から、大意見交換会の模擬体験を行いたいとの要望があり、和やかな雰囲気の中で実施されました。模擬体験はすごろく方式で行われ、それぞれが出た目の質問に対して考えを述べることで、過去を振り返ったり、未来を考えたりと有意義な交流会となりました。そして模擬体験を通して建設的な意見が多数あり、大会当日の交流会が楽しみになりました。今年の全道大会開催地の中標津に多くの建築士が集うことを期待し道東ブロック会の報告と致します。

青年委員会

青年としての建築士会への関わり

青年委員会委員長

吉田 徹 (札幌支部)



まず、はじめに第66回全国大会「鹿児島大会」公益財団法人日本建築士会連合会主催地域実践活動報告セッションにおいて「建築士お仕事体験フェス」の事業で最優秀賞を頂きましたことを報告させていただきます。

この「建築士お仕事体験フェス」は前回第327号の会誌の方で実施報告をさせて頂いた事業です。道内4会場、ほぼ道内の青年委員、一丸となって開催いたしました。結果としてこのような評価を頂いたことは、多くの皆さまのご支援によるものと感じております。準備から当日の運営に尽力していただいたメンバーをはじめ、過去のお仕事体験イベントの各企画を立ち上げて作り上げて頂いた青年OBも含め北海道建築士会全体で頂いた賞となります。改めてお礼を申し上げさせていただきます。

ありがとうございます。



全国大会 賞状



会場正面入り口

私が北海道建築士会青年委員長を拝命してから、ちょうど1年が経ちました。引き受けた際、会誌にて「新たなスタート」というタイトルで青年委員会の活動の抱負を書かせていただき、昨年はコロナからの事業の復活、そして今年は事業の発展として様々なことに取り組んできました。

様々な事業通じて個々の建築士としての資質の向上、仲間づくりを行い、そして建築を楽しむ時間を意識して事業を計画させていただきました。

「全道青年連絡会議」においては、会議と研修会の2部制とし研修会においては、建築士以外の方にも参加できるようにすることで建築士会の認知向上を行いました。「青年建築士の集い」では、小樽の歴史ある街で建築を楽しむことを主題としてゲーム性を持たせた街歩きを行いました。「建築士お仕事

体験フェス」では、多くの子供たちへ建築士の仕事の体験と建築士とのふれあいを行いました。その他、各ブロック事業などでの青年活動など通じて建築士としての資質向上や仲間づくりなどを行ってきました。多くの皆さまのおかげで、皆様の中に何か一つでも業務に活かせる事を持ち帰ることが出来る事業だったのではないかと感じております。

本年前半から北海道建築士会では、運営上のことについて様々な解決しなければならない議論の提言があり、多くの会員の方々が「建築士会とは何か？」と考えるきっかけとなったのではないかと思います。

私個人、青年メンバーの一人として仕事、家庭、建築士会、その他の団体の活動を考えるようになりました。

仕事においては、青年層は多忙な業務と責任のある立場にいる方が多く、時間の融通が厳しい状況にあります。家庭においても、年齢的に子育て世代や様々な事情に配慮しなければならぬ世代だと感じております。

その中で、一種のボランティア活動である建築士会の実行委員会活動と、そこで企画した建築士会としての色々な研修会などのイベント事業における向き合い方を考えるようになりました。

「建築士会」とは、建築士の資格を持つ人たちが構成される団体で広い建築業界、多種多様な業種の方々がいらっしゃいます。他の団体とはその点が大きく違うというのは「建築士会」の大きなメリットではないかと考えます。色々な事業に参加することで他の業種の方と横のつながりを持ち、チームで仕事をする建築において、将来にわたってこの仕事を続けていく中で、これが大きな財産となるのではないかと感じております。

また、仕事とは別の場所で建築を感じ、学び、そして楽しむことが出来る場所だと思っています。

残りの任期、委員のメンバーを含め青年全体が「楽しい」と感じてもらい何か一つでも仕事に活かせることを持ち帰っていただける「会」としたいと考えております。



11月の委員会での集合写真

北海道建築士会年間行事予定（予定）

3月	11日 第1回理事会	9月	予定 一級・木造建築士学科試験合格者発表
	19日 定時総会		14日予定 二級建築士設計製図試験
	22日 全道青年委員会連絡会議		19日 全国大会（大阪大会）
5月	23日 第2回理事会	10月	27日 全道大会（中標津大会）
	予定 青年建築士の集い		12日予定 一級建築士設計製図試験
6月	30日 支部長・事務局長合同会議	12月	5日 第4回理事会
7月	6日予定 二級建築士学科試験		予定 建築士試験設計製図合格者発表
	27日予定 一級・木造建築士学科試験		
8月	予定 二級建築士学科試験合格者発表		
	29日 第3回理事会		

建築士試験「設計製図」合格者（北海道）

	実受験者	合格者	合格率		実受験者	合格者	合格率
二級建築士	289名	118名	40.83%	木造建築士	1名	1名	100.00%

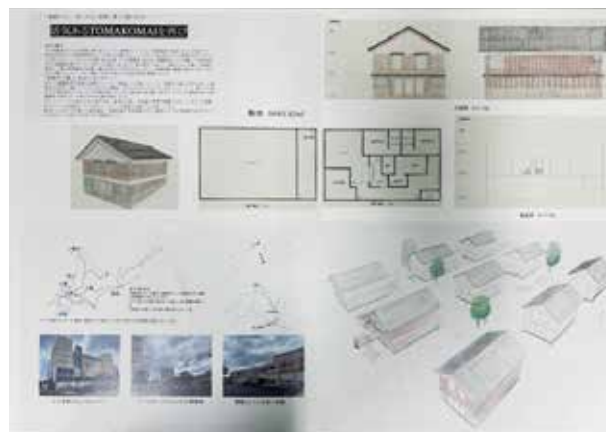
第15回 高校生の「建築甲子園」北海道予選通過

（公社）日本建築士会連合会主催の「建築甲子園」は、今年で15回目の開催となります。北海道予選の今年の応募について、今年は1校あり、北海業苦小牧工業高等学校全日制課程のタイトル「活気あるTOMAKOMAIを再び」に決定いたしました。

全国選手権の最終審査結果は、12月初旬の決定を予定しています。



苦小牧工業高校 先生と選手の皆さん



応募作品

恵庭支部

全道（日高大会）・全国（鹿児島大会）に参加して

特別理事

伊藤 隆英



■第46回全道大会（日高大会）が9月28日（土）新ひだか町静内公民館で開催され、当支部から13名が参加しました。今回の大会は、例年とは趣向を変え、1日開催で、特に例年の「分科会」から初めて全体参加型のワールドカフェ方式を採用した「ひだカフェ」が実施されました。

テーブルごとに「問い」が設定されており、1) どうする？全道大会、2) どうする？支部活動、3) どうする？会員増、4) どうする？労働力不足の4点で、座席も既に指定され少人数ごとに分かれて配席されていました。テーブルマスターのリードでまずは、自己紹介からスタートしてリラックスした



ひだカフェ「A3テーブル」

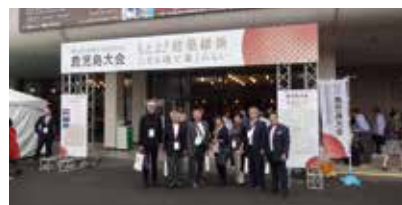
雰囲気中で、全員が「問い」に対する意見や考え方を話し合い、時間で他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けました。このことにより、結論を出すのではなく、アイデアや意見を共有することができました。

今後、参加した全員の意見や知識を集約して、「問い」の解消策の一助になることを大いに期待したいものです。また、「懇親会」の座席は、テーブルが指定されており、他の支部の方々と相席となり大いに懇親を深めることができました。何から何まで、すばらしい段取りと進行で思い出に残る大会となりました。

日高支部の皆さん！ご苦労様でした。

■第66回全国大会（鹿児島大会）が10月25日（金）鹿児島市「宝山ホール」をメイン会場に開催され、全道17支部から98名が参加し、当支部からは3泊4日の日程で18名が参加しました。午前中は各セッションが行われ、昨年度に開催された第18回「木の建築賞（鹿児島大会）」の受賞作品の紹介と大賞受賞者と選考委員によるトークセッションに参加してきました。

「木の建築賞」は、全国を7地区に分け「いま！求められる木の建築活動とは」という呼び掛けに、森林、木材、建築に関わる全国の実践者が応募し、その中から優秀な建築活動を顕彰する大会です。13時から大会テーマ「もえよ！建築維新へたぎる地で築く未来」に呼応した記念フォーラムが開催されました。15時から大会式典が、18時から会場を屋外の「かんまちあ」に移動して、「鹿児島黒牛」、「鹿児島黒豚」、「さつまあげ」などの鹿児島の美味しい料理が揃えられており、キッチンカーも数台並び、熱々の料理を提供してくれていました。さらに、焼酎王国である鹿児島の各蔵元から選りすぐりの素晴らしい焼酎を堪能させて頂きました。実に美味しかった。これが全国大会の唯一の楽しみでもあります。



全国大会に参加した恵庭支部の一部の面々

宗谷支部

今年度の活動について

青年部副部長

本田 祐介



宗谷支部青年部の副部長をしています本田と申します。青年部では建築士会のイメージアップ、メンバーや建設業関係者との交流を深めるため、北門神社祭神輿担ぎへの参加やビールパーティーの開催などの事業を行っております。今回はビールパーティーの開催についてご紹介いたします。

毎年、建設業関係者との交流を深めるとともに建築士会の活動をPRするためにビールパーティーを開催しておりましたが、開催場所として使用していた施設の閉鎖

や新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い開催することができませんでした。

その後、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、ビールパーティーの開催に動き始めた中で、地元団体である技能士会と合同で9月15日に開催する運びとなりました。開催場所は、稚内市の観光名所でもある稚内港北防波堤ドームとなり、初めて屋外での開催となりました。

開催日前日の夜から雨が降り出し、雨の中のビールパーティーとなるかと思われましたが、当日の朝に雨が止み、日が差し青空が見えるまで天気が回復し、幸先の良い出だしとなりました。

ビールパーティーの開始とともに建設業関係者の方々が多数ご来場していただき、ビール・ジュースなどの飲み物や、ザンギ・焼き鳥・枝豆などの食べ物の売れ行きも良く、また余興では、技能士会メンバーによるダンスやYOSAKOIソーランチーム「和凜（かりん）-KARIN-」による踊り、建築士会・技能士会による抽選会を行い、会場は大いに賑わいました。

ビールパーティーや北門神社祭神輿担ぎなどの事業を行うことで若手メンバーの交流を深める良い機会であり、青年部メンバーと協力して今後も続けていければと考えております。



余興（和凜）



余興（技能士会）



余興（抽選会）



会場の様子

道士会の動き

本部の主な会議報告 (12月)

- ◆四役会 (Web)
(開催日) 2日(月)
1) 令和6年第5回理事会議案
- ◆第5回女性委員会小委員会 (Web)
(開催日) 3日(火)
1) 令和7年事業計画及び予算要求
2) 連合会事業
3) フライヤー作成のポイント
4) お仕事紹介
- ◆第9回BIM推進特別委員会 (Web併用)
(開催日) 4日(水)
1) doBIM season8 final 運営体制
2) 各事業の進捗
3) 令和7年活動内容
4) 委員会内勉強会: building SMART International Summit - Marrakesh 2024 情報共有
- ◆第3回情報委員会 (Web併用)
(開催日) 7日(土)
1) 令和6年事業報告及び令和7年事業計画・予算
2) 会誌「北海道建築士」について
- ◆第5回理事会 (Web)
(開催日) 13日(金)
1) 財政調整積立資産の取崩 (案)
2) 令和6年一般会計予算の補正及び流用 (案)
3) 令和6年一般会計事業報告(10月末)及び収支決算見込
4) 令和6年特別会計事業報告(10月末)及び収支決算見込
5) 支部財政調整積立資産の取崩 (案)
6) 第46回全道大会(日高大会)事業報告及び収支決算(案)
7) 第47回全道大会(中標津大会)の開催(案)
8) 第48回全道大会の開催(案)
9) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)
10) 令和7年一般会計事業計画及び予算編成
11) 令和7年特別会計事業計画及び予算編成
12) 令和7年定時総会の開催(案)
13) 地域貢献活動センター規約等の改正(案)
14) 二級建築士及び木造建築士登録等事務取扱要領の改正(案)
15) 支部消費税の算定方法

本部の主な行事予定 (1月)

11日(土) 第1回青年委員会

講習会・セミナーのご案内 (1月)

監理技術者講習

15日(水) 札幌市

応急危険度判定士認定講習会

17日(金) 函館市

21日(火) 釧路市

27日(月) 苫小牧市

建築基準法講習会

22日(水) 札幌市

28日(火) 根室市

30日(木) 留萌市

CPD認定プログラム(12月認定)

◆実務に役立つ建築法規解説

「第56回建築基準法講習会」

《日程及び会場》 1月22日(水) 10:30~16:00
北海道第二水産ビル(札幌市)
他19会場

《単位数》 4単位

《上記講習等問合せ先》

(一社)北海道建築士会 TEL 011-251-6076

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中!



- 視聴方法: 北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力
- 1月パスワード: Tok051

編集後記

先日、情報委員会がありました。前回の委員会はZOOMでしたので、機械的に……。今回は対面で行えたので、活発な意見があり、やはり対面の方が委員会が盛り上がるなと思いました。その時に分かったのですが、第47回全道大会(中標津大会)の1週間前に全国大会があるじゃありませんか?? 万博の為とお聞きしましたが、北海道建築士会の皆様! 全国行くのならもちろん全道大会も参加してください!! うちの副委員長が参加人数が少なくなるのでは、と申ししておりましたので……。絶対に全道大会参加宜しく願い致します。

情報委員会 津山 浩(日高支部)

情報委員会委員長/前田 繁
副委員長/村山 賢司・立花智亜喜
委員/角張 隆昌・津山 浩
奈良岡 修

北海道建築士 No.329号

印刷 令和6年12月/発行 令和7年1月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番